

令和 6 年

第 8 回
議会改革特別委員会記録

令和 6 年 9 月 3 日

東伊豆町議会

第8回議会改革特別委員会記録

令和6年9月3日（火）午前9時30分開会

出席委員（12名）

1番	山田豪彦君	2番	鈴木伸和君
3番	楠山節雄君	5番	笠井政明君
6番	稲葉義仁君	7番	栗原京子君
8番	西塚孝男君	10番	須佐衛君
11番	村木脩君	12番	内山愼一君
13番	定居利子君	14番	山田直志君

欠席委員（なし）

その他出席者（なし）

当局出席者（なし）

議会事務局

議会事務局長 村木善幸君 書記 榊原大太君

開会 午前 9時30分

○委員長（稲葉義仁君） ただいまの出席委員は11名で、委員定数の半数に達しております。
よって、本特別委員会は成立しましたので、開会します。

議長、一言いただけますか。

○議長（笠井政明君） 皆さん、おはようございます。ちょっと雨がひどくて、風は大したことなくてあれでしたけれども、ちょっと降り方が尋常ではなくて、私もずっと家から白田川見てましたけれども、今後こういう場合もあるので、議会としては外側からという形になっていますけれども、情報があれば情報提供は議会事務局にしながらやっていきたいと思いますので、皆さん、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（稲葉義仁君） ありがとうございます。

なお、11番村木議員から少々到着が遅れるとの報告がありましたので、御報告をいたします。

直ちに本日の会議を開きます。

1点目の広報広聴についてを議題といたします。

広報広聴については、前回の委員会でも少し皆さんの意見も伺いましたが、あまり意見も出ず、今後どうしようかなという感じもございましたので、こちらについては、一旦ちょうど議会の時期ということもありまして、広報編集委員会が開催されますので、現時点での担当をしている方々に、意味合いも含めそちらで少し今後の方向というのを、議会だよりを編集する合間で申し訳ないんですが御検討というか協議していただいて、ある程度の方向性を出して、また改めてこちらの委員会でも協議したいと考えておりますが、広報編集委員長はそんな感じでどうでしょうか。

○7番（栗原京子君） いいと思います。

○委員長（稲葉義仁君） 皆様はよろしいですか、そんな感じで進めさせていただいて。

（「はい」の声あり）

○委員長（稲葉義仁君） では、広報関係につきましては一旦協議を広報編集委員会で引き取っていただいて、今後の方向性について改めて御提案をいただいて、こちらでもんでいくという形にしたいと思います。

2 点目の定数・報酬についてを議題といたします。

本件につきましては、前回まで各部会に分かれて協議を行ってきましたが、本日は全体で協議をしたいと思います。

一応資料としては、両者の会議録が添付をされておりますので、少しそれを御覧いただき、定数のほう、報酬のほうで特に絡んでいないほうのところを中心にそれぞれが御意見をいただければと思います。まずはそんな形で進めたいと思いますが、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○委員長（稲葉義仁君） それでは暫時休憩いたします。

休憩 午前 9 時 3 3 分

再開 午前 1 0 時 0 2 分

○委員長（稲葉義仁君） 休憩を閉じ再開いたします。

ちょっと休憩中に協議をさせていただきましたが、まず定数部会のほうの報告書のまとめの方向性としては、結論は、定数は少なくとも次回の選挙では維持という方向でまとめたただくと。ただし、2 回連続無投票が続いている、それからいろんな状況等を含め定数を維持ということになりますと町民からの理解が得られないというところも十分考えられますので、そういう反対意見も十分付記した上でまずはまとめていただき、全体の報告書としては、そういったところをどうやって解消していくかというのも含めて示していきたいというふうと考えております。そんな方向でまとめていただいてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（稲葉義仁君） では、よろしくお願いいたします。

では、続いて報酬のほうの話に入りたいと思います。

では、暫時休憩をいたします。

休憩 午前 1 0 時 0 3 分

再開 午前 1 0 時 2 0 分

○委員長（稲葉義仁君） では、休憩を閉じ再開いたします。

報酬部会のほうの中間報告の方向性としては、合併問題のときにあった20%の報酬削減というのをまずは元の水準に戻すというところを主眼に、ほかのいろいろな指標も併せて示しながら、このぐらいはいいよねという形の報告をつくっていくということと、併せて、同じ時期に特別職、この方々も同じように報酬を下げてそれきりという部分もございますので、そこについても再検討を含めるという形の報告書をつくりながら、報酬審議会の開催を改めて当局に対して働きかけるという形にしたいと思います。

併せて、議長からもちっとありました全国的な流れの中では、議員報酬についてはもっと高い水準での、どんどん上げていけという方向もあるようですので、そのあたりもちっと含み置きながらまとめていきたいと考えております。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（稲葉義仁君） では、報酬のほうはそういう形でしたいと思います。

一応いずれの報告書についても議会中であれなんです、可能であれば、次25日に議会改革の委員会がまた予定をされておりますので、完全な形でないとしても、その骨子あるいは全体の流れが分かるような報告書というのを、自分で言っていて自分でできるのかなという感じなんですけれども、各部会で御用意いただければと思いますが、その形で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（稲葉義仁君） 予定が変更になった場合また改めて御案内しますが、一応現状の目標としてはそんな感じで進んでいきたいと思います。

併せて、広報のほうも何か報告できることがあれば、9月25日に方向性について報告いただければと思います。なかなかいろいろ仕事が詰まっている時期ですので、ここについては締切りは設けませんが、可能であればということでお含み置きください。

ということで、それぞれの部会の内容については以上といたしたいと思います。

次に、その他何かございますでしょうか。

大丈夫ですか。

ないようでしたら、以上で議会改革特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

閉会 午前10時23分